

15. (Gno.41) 法オントロジーの研究 (法オントロジー研究会)

代表：森 光

2000/02/12 (承認) 2000 年度 (開始)

【研究の目的】

法文化をその時空的個性に視点を据えて、歴史・比較・情報の観点から学際的、総合的に研究する。まず、翻訳の問題をユスティニアヌス帝法学提要を素材にしてとりあげる。矢田一男訳の改訂を副産物として考える。

【研究活動及び成果】

総括

2022 年度中は、二人の招聘者をお呼びした。イタリア・サレルノ大学の Francesco Lucrezi 先生を 2023 年 2 月に、ベルギー・リエージュ大学の Jean-François Gerkens 先生を 2023 年 3 月に招聘した。Lucrezi 先生には、「古代世界における父」「古代世界における刑罰」というタイトルで 2 度の講演を行っていただいた。Gerkens 先生には「ローマ法における危険負担」についての講演を行っていただいた。